

3. 第一東和会病院 地域医療従事者研修会のご案内

1 1月開催予定の地域医療従事者研修会は下記になります。
演題：「頸動脈エコーの基礎とハンズオン」
座長：第一東和会病院 副院長 出口 寛文 医師
演者：第一東和会病院 診療技術部 臨床検査科 臨床検査技師
超音波検査士 瀬賀 敏之
ハンズオン： 超音波検査士 辻井 邦昌
日時：2019年11月27日（水） 14：30～16：00
内容：頸動脈を観察することにより、頸動脈の閉塞や狭窄、動脈硬化の程度を客観的に判断することが可能になります。今回は基礎と基本的な計測の実技をして頂きながら学べる内容になっています。

研修会場：第一東和会病院 5階会議室

お申し込みは、「輪」に同封しております、「第一東和会病院 勉強会参加申込書」をFAXしていただくか、もしくは、地域連携室(072-671-1118)までご連絡をお願いします。



第一東和会病院、第二東和会病院
地域連携室

TEL 072-671-1118（第一）

FAX 072-671-1090（第一）

受付時間（第一）

平日 8:30～19:00

土曜 8:30～17:00

時間外休日

072-671-1008（代表）

E-mail renkei@towa-med.or.jp



医療法人 東和会

第一東和会病院

4. 医療NEWS

週刊ダイヤモンド（2019年10月12日号）の有料老人ホーム・ランキングにて、「みやの楽々園」が大阪で28位に評価されました。（全国1100施設中）



順位	ホーム名	所在地	運営会社	入居定員（人）
大阪府 介護型				
1	エイジフリー・ライフ星が丘	枚方市	パナソニックエイジフリー	54
2	サンセール香里園	寝屋川市	パナソニックエイジフリー	105
3	メルシー緑が丘	豊中市	ビケンテクノ	64
...	...	...	...	...
28	みやの楽々園	高槻市	光真	100
29	コンシェル阿倍野	大阪市	リエイ	100
30	メディカルホーム くらら豊中	豊中市	ベネッセスタイルケア	48
...	...	...	...	...

5. 大阪病院学会のご報告

10月27日 第20回大阪病院学会にて、当法人から17演題中、4演題が学会優秀演題に選ばれました。

All you need is love ...

発行日 2019年 11月 1日
第5第8号



医療法人 東和会

第一東和会病院

TOWA ～架け橋～

Monthly NEWS

連携診療所向け月刊情報誌



1. 認知症の診断について

第一東和会病院 もの忘れ外来 山内 繁



第一東和会病院 もの忘れ外来を担当している山内です。
2018年10月から前任の富樫医師の退職に伴い、非常勤医師として毎週水曜日に担当させていただいています。まずは日頃より先生方から多くの患者さまをご紹介いただき感謝申し上げます。
今回は認知症の診断について話をしたいと思います。

撮影者：医局長 兼
内視鏡外科センター副部長
千野 佳秀

目次

	Page
認知症の診断について	...1
〃	2
地域連携部部长 就任のご挨拶	3
地域医療従事者研修会	4
医療NEWS	4
大阪病院学会報告	4

認知症とは

まず認知症の定義ですが、「いったん正常に発達した知的機能が持続的に低下し、複数の認知障害があるために社会生活に支障をきたすようになった状態」とされており、認知症は疾患名ではなく上記の状態を呈する症候群ということになります。

では認知症をきたす疾患はどのようなものがあるのでしょうか。図にも示しますが、脳出血や脳梗塞などの脳血管障害、アルツハイマー病やレビー小

体病、前頭側頭型認知症などの神経変性疾患、甲状腺機能低下症、ビタミンB12欠乏症などの内分泌・代謝性疾患、薬物中毒、アルコール中毒などの中毒性疾患、クロイツフェルト・ヤコブ病や脳炎、髄膜炎などの感染症、脳腫瘍、慢性硬膜下血腫、正常圧水頭症など多岐にわたります。割合としてはアルツハイマー型認知症が約半数を占めると言われており、当外来でも半数以上になります。

さて認知症と言えはもの忘れというイメージがあるかと思いますが、認知症によるもの忘れと加齢によるもの忘れには図のような違いがあります。認知症と診断される方の多くは病識がなく、自分は問題ないとおっしゃられます。一方で加齢によるもの忘れの患者さまはひどく記憶力低下を訴える傾向にあります。そのためもの忘れを自ら心配される患者さまは問題がないことのほうが多いです。むしろ家族から指摘されたり、医師が受診時の様子がおかしいことや飲み忘れが増えていることから、もの忘れを指摘したりといった方のほうが認知症と診断されることが多いです。

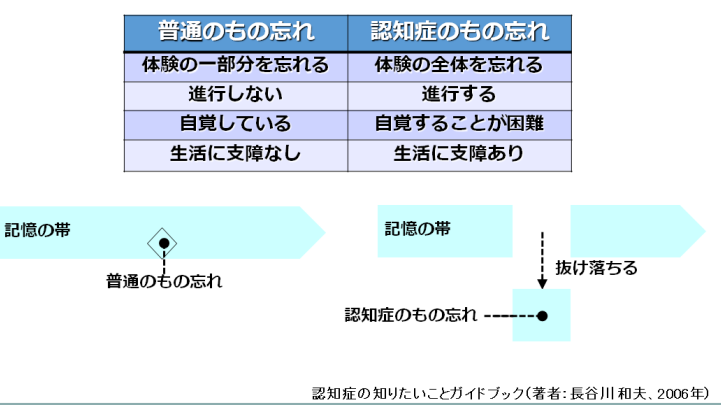
認知症の診断

次に診断についてですが、上記に述べたように認知症をきたす疾患は多岐にわたっており、中には原因疾患を治療することで症状を改善できたり軽減できたりするものがあります。他科に依頼しなければならないものもありますが、甲状腺機能低下症やビタミンB12欠乏症、慢性硬膜下血腫、正常圧水頭症などが挙げられます。また認知症と鑑別が必要な病態として意識障害(せん妄)、うつ状態による仮性認知症、精神遅滞、てんかんなどが挙げられます。

認知症の原因となる疾患

原因疾患	診断名
脳血管障害	脳出血、脳梗塞、ビンスワンガー病
退行変性疾患	アルツハイマー病、レビー小体病、前頭側頭型認知症(ピック病)、ハンチントン舞蹈病
内分泌・代謝性疾患	甲状腺機能低下症、ビタミンB ₁₂ 欠乏症、サイアミン欠乏症、肝性脳症、透析脳症、肺性脳症、低酸素症
中毒性疾患	各種薬物、金属、有機化合物などの中毒、アルコール中毒
感染症疾患	クロイツフェルト＝ヤコブ病、各種脳炎ならびに髄膜炎、進行麻痺、エイズ
腫瘍性疾患	脳腫瘍、転移性腫瘍
外傷性疾患	頭部外傷後遺症、慢性硬膜下血腫
その他	正常圧水頭症、多発性硬化症、神経ペーチェット病

普通のもの忘れと認知症のもの忘れ



そのため当外来では認知症が疑われた患者さまに基本的に頭部MRI、脳波検査、血液検査を施行し症状と合わせて治療可能な疾患を除外し、認知症の診断を行っています。

おわりに

簡単ではありますが認知症の診断について話をさせていただきました。もの忘れが気になる方など気軽に紹介していただければと思いますが、当院は精神科を標榜していませんので使用できる薬剤が限られております。不安、妄想、徘徊、せん妄、興奮といった周辺症状がある患者さまや、入院も含めて判断が必要な重症の患者さまかを、ご紹介の際にご考慮いただけると幸いです。

最後に週1回の外来で予約が取りづらい、すぐに受診できないなど、ご迷惑をおかけしていますが、ご紹介いただいた患者さまの診断、薬剤調整などが落ち着き安定すれば、かかりつけ医の先生方での継続加療をお願いできればと思います。今後とも宜しくお願い致します。

2. 地域連携部部長就任のご挨拶

地域連携部部長 兼 内視鏡外科センター副部長 千野 佳秀

このたび2019年9月1日より地域連携部部長を拝命いたしました。

私は当院に赴任し17年目となり、現在内視鏡外科センター副部長として勤務しております。日頃から患者さまの紹介や逆紹介にご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

当院は地域の医療・介護に関わる皆さまとの連携を進め、患者さまを中心に地域全体で切れ目のない医療・介護を提供するシステムの構築をめざしております。日夜進歩する医療の専門性を生かしながら、診断結果や治療方針・経過を迅速・確実に先生方にご報告し、医療連携の向上に努めて参ります。

今後より一層、気軽に意見交換ができる「顔の見える連携室」を心がけ又地域医療支援病院として地域に貢献していきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

家族が気づいた認知症の初発症状



本間 昭: 毎日ライフ 31 (1) 12, 2000 [L200000218008] (一部改変)

